

政策体系	No.	事務事業名	海津市との姉妹都市交流事業	所 属 部	総務部
	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	所 属 課	総務課
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進	課 長 名	阿多 己清
	基本事業名	0 2	地域間・都市間交流活動の推進	所 属 G ( 係 )	市民運動推進室
				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
江戸時代に木曾川治水工事を行った薩摩義士への報恩感謝の気風を持つ岐阜県海津市との姉妹都市交流事業を行っている。 春(4月25日前後)と秋(10月25日前後)の海津市への訪問研修(海津市民との交流、慰霊祭参列、薩摩義士の偉業史跡視察 薩摩関係史跡研修)、参加者の一部負担あり 青少年交流研修(海津市中高校生との交流、相互ホームステイ、生徒会交流、5月に海津市から受入れ、8月に海津市を訪問) 海津市からの受入れ事業(5月25日前後、海津市民との交流、平田公園慰霊祭参列)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 45 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
19年度実績(19年度に行った主な活動)	名称	単位
事務事業の概要と同様	ア 姉妹都市交流事業の開催回数	回
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	イ	
昨年度と同様	ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民	名称	単位
中・高校生	ア 人口	人
	イ 中・高校生	人
	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
薩摩義士の偉業を学びながら、海津市民との交流を行う。	名称	単位
	ア 交流事業に参加した市民の数	人
	イ 薩摩義士の偉業を学んだ市民の数	人
	ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
定期的・継続的な交流関係を築く。	名称	単位
	ア 交流活動に参加している市民の割合	%
	イ	
	ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	4,217	3,890	4,000		
		事業費計(A)	千円	4,217	3,890	4,000		
活動指標	ア 回		5	5	5	5	5	
対象指標	ア 人		127,615	127,773	128,128	128,383	128,640	128,868
	イ 人		6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
	ウ							
成果指標	ア 人		97	70	70	72	74	76
	イ 人		97	167	237	309	383	459
	ウ							
上位成果指標	ア %		8.2	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧国分市と昭和43年に海津町と交流がはじまり、昭和45年に姉妹都市盟約を結び、姉妹都市交流事業が開始された。新市となり、平成18年に新たに海津市と姉妹都市盟約を結び姉妹都市交流事業も継続することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併後、霧島市薩摩義士顕彰会が発足したり、市民が参加しやすいように一般公募方式を取り入れたりして、海津市との交流が充実してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
訪問研修の参加者人数の増加を図るよう議会や市民から意見が寄せられている。また、交流だけでなく、交流の基となった薩摩義士について、理解を深めるための勉強会や語り部の育成を図るよう議会や市民から意見が寄せられている。	

事務事業名	海津市との姉妹都市交流事業	所属部	総務部	所属課	総務課																									
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 薩摩義士の業績を学びながら、海津市民と交流を行うことは、定期的・継続的な交流関係を築くことに結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 海津市と霧島市との姉妹都市盟約であり、市が姉妹都市交流事業を行うことは当然である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 姉妹都市交流の対象は市民であるため、対象は妥当である。定期的・継続的な交流関係を築くために、交流の基となった薩摩義士について学びながら、海津市との交流を行うこととしており、意図も妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 定員により、参加したくても参加できない人が出ている。訪問研修回数や1回あたりの定員を増やすことで、薩摩義士の偉業について学ぶ機会も増えるため、成果を向上する余地がある。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 定期的・継続的な交流関係を築くことが途切れるとともに薩摩義士の偉業や報恩感謝の気風を知る機会が減少する。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 他に類似事業はない。																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 主な経費は、海津市への訪問研修に要する旅費であり、参加者に対して補助を行っているが、補助額を下げる、参加者が減少すると予想されるため、削減余地はない。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 海津市役所の担当者、学校関係者及び旅行会社等との打ち合わせに多くの時間を要しているが、必要最小の時間であるため削減余地はない。また、担当職員が一貫して業務に携わることで、事業がスムーズに行われるため、正職員以外の職員が従事することや部分的な委託も難しく削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 参加者は公募により決定しているため、受益機会は公平である。また、参加者からは一部負担金を徴収しており、費用負担も公平・公正である。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		定員により参加したくても参加できない人が出ている。より多くの市民が薩摩義士の偉業を学びながら、交流を行うために、訪問研修回数や1回あたりの定員を増やすことを検討する必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<改革改善案> 訪問研修回数や1回あたりの定員を増やすため、事業予算を確保する。																											
			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。																														

No.	事務事業名	国際交流協会運営補助事業				所属部	企画部	
						所属課	企画政策課	
政策体系	政策名	0	6	共生・協働のまちづくり			課長名	川村 直人
	施策名	0	2	地域間・都市間交流の推進			所属G(係)	国際交流G
	基本事業名	0	3	交流のための民間組織・人材の育成、充実			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 特になし	
	一般	0	2	0	1	1		3

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
霧島市国際交流協会の運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)霧島市国際交流協会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 霧島市国際交流協会は市民レベルの国際交流活動を推進することを目的に設立された団体で、市民及び市内事業者を会員として運営されている。主な活動として、マレーシアや中国耀州区等へ青少年を派遣したり、交流先からの青少年受け入れがある。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 1 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
補助金の交付(マレーシア派遣・中国耀州区派遣事業の実施)		ア	実施した事業回数
			回
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ	
補助金の交付(マレーシア派遣・中国耀州区派遣・アメリカ派遣・ラオス派遣)		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
国際交流協会会員		名称	
<対象団体> 霧島市国際交流協会		単位	
<対象活動> 国際交流協会の運営		ア	国際交流協会会員数
			人
		イ	国際交流協会の運営に関する経費
			千円
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島市国際交流協会の円滑な運営と財政の健全化を図る		名称	
国際交流活動が活発になる		単位	
		ア	新たに加入した会員数
			人
		イ	国際交流協会事業への参加者数
			人
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
・団体の組織、活動が盛んになる		名称	
・人材が育つ		単位	
		ア	団体数
			団体
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	3,526	3,526	3,350		
	事業費計(A)	千円	3,526	3,526	3,350			
活動指標		ア 回	20	22	20	18	18	18
対象指標		ア 人	136	134	136	154	161	169
		イ 千円	6,875	9,093	18,345	17,427	16,555	15,727
成果指標		ア 人	0	2	2	18	7	8
		イ 人	489	596	520	500	500	550
上位成果指標		ア 団体	9	9	9	9	10	10

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
合併前の国分市(平成1年)・隼人町(平成6年)時代から国際化への対応のため協会の活動に対して補助金の交付を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
市町合併により統一した国際交流協会設立が必要になり、平成20年4月に統一した協会が設立された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
国際交流協会員から霧島市で一本化した国際交流協会設立が必要との声があったが、平成20年4月に統一した協会が設立された。	

事務事業名	国際交流協会運営補助事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 国際交流協会の円滑な運営を手助けすることは、市の国際化推進・市民の国際理解度を高めることにつながり、共生・協働のまちづくり政策にも結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 民間レベルでの国際交流活動を支援することは、市の国際化推進・市民の国際理解度を高めることにおいても有効である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 協会員全体を対象としているので対象は妥当である。同様に意図も妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 国際交流協会の統合により、市内全域から会員を募り、自主財源を増やすことが可能となった。 従来協会組織があったのは国分・隼人地域のみであった。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 青少年の海外派遣や受け入れ事業を一手に行っており、事業廃止によりこれらができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 市の行っている海外への青少年海外派遣事業(アメリカ派遣・国際協力体験事業派遣) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 従来市が実施していた派遣事業を協会がまとめて実施することにより募集事務・事前・事後研修など一体的に実施できるようになる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 2つの協会が統合して新協会が設立されたので事務経費の見直しが見られる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金の交付事務のみであり、削減余地は少ない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 青少年の海外派遣事業は会員のみではなく公募している。参加人数に制限があるが、経費は半額を負担してもらっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市の海外派遣事業を協会で実施することにより、効率的な運営が見込まれる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<改革改善案> 霧島市国際交流協会が各派遣事業の横断的業務(募集・事前研修・壮行会・帰国報告会・事後研修等)をまとめて実施し、効率的な事務運営とする。受入れ体制もホームステイ先など各派遣事業参加者へ呼びかけ総合的に行う。																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 新国際交流協会の組織確立が必要である。